

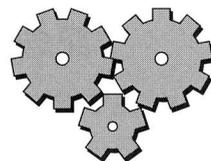
NPO法人

北九州TSニュース

Kitakyushu Techno-Support

2005

8



通巻5号／平成17年8月10日発行
発行／NPO法人 北九州テクノサポート
・発行人 秦吉昭・編集人 三上亨
北九州市戸畑区中原新町2-1・北九州テクノセンタービル2F
〒804-0003 Tel・Fax093-873-1453

各機関と連携 事業を拡充強化

第3回通常総会 17年度計画を決定

特定非営利活動法人・北九州テクノサポート（以下、KTSと略称）では、6月9日（木）、北九州市戸畑区・北九州テクノセンター1Fホールで、第3回通常総会を開催しました。

当日の行事は次の通り、

1. 通常総会 14:30～15:50
2. 記念講演 16:00～17:00
3. 懇親交流会 17:10～18:30

の3部構成で行われました。

当日の司会進行には小野晃一理事が当たり、正会員77名のうち、本人出席43名、委任出席27名、計70名の出席で総会が適法に成立した旨発表、開会しました。

その冒頭に秦吉昭会長が挨拶の後、推されて議長となり、議事に入りました。

第1号議案 平成16年度（第2期）事業報告及び収支決算承認の件

事業報告・仲隆喜副会長、収支決算報告・米沢昌理事より報告説明、全会一致で承認。

第2号議案 平成17年度（第3期）事業計画・収支予算決定並びに入会金、会費の件

事業計画案・小川勝副会長、収支予算案及び入会金・会費の件・米沢昌理事より提案説明、全会一致で原案どおり可決決定。

議事終了後、来賓紹介の後、神谷昌秀新産業・新技術振興課技術課長補佐（商工部長代理）、植木利雄（財）北九州産業学術推進機構専務理事（理事長代理）の祝辞を頂いて総会を閉じました。

このうち、決定をみた17年度事業計画の基本方針の要旨は次のとおり。



17. 6.9 第3回通常総会（北九州テクノセンターホール）

☆17年度基本方針〈要旨〉

法人化後3年目を迎え、「ものづくりに支援協力し、産業振興を通じまちづくりに貢献する」をモットーに、更なる知名度のアップと認知への努力を傾注すると共に、実効ある活動を行う。

1. 関係行政・公的機関・大学・高専及び企業との密接な連携による調査、アドバイザー、コーディネーター、プロモーターの役割強化
2. 「エコアクション21地域事務局福岡」の認定開設を受け、ISO認定取得や環境産業政策への全面的な支援協力
3. 実践的な研究段階に入った「金属プレス成形金型産学連携研究会」の積極的支援
4. 「北九州産業技術博物館」の企画進行への協力
5. 諸活動の北九州市周辺地域への拡充
6. 各支援部会を通ずる実効ある活動の推進

記念講演と交流会

続いて第2部の記念講演は、「産学連携におけるデザイン活用」のテーマで、森田昌嗣九大教授により行われました。

1時間にわたった森田教授のお話の要旨は、次頁に記載のとおり。デザイン活用の課題と今後の可能性についてから入り、欧米の戦略的デザイン活用事例を紹介、デザインは「ブランド確立の近道」と結んだお話は、産学連携の別切口として参会者にフレッシュな感銘を与えました。

第3部の懇親交流会は、同じく1Fの隣室レストランに席を移し、総会出席者の大半が参加、小林正己市地域産業部長の祝辞と乾杯音頭で開宴、和やかな親睦交流の輪をあげ、伊崎晴朗市中小企業振興課長の中締めで盛況裡に幕を閉じました。

本総会には、前年に比し各機関・団体から多数来賓のご出席がありました。これは、KTSの認知度向上の反映と目されます。そのご芳名は、次のとおり。

○出席ご来賓（順不同）

〈行政機関〉

（福岡県）神谷昌秀商工部新産業・技術振興課技術課長補佐、城和浩同課主任主事

（北九州市）小林正己産業学術振興局地域産業部長、平野富士雄同部地域産業課長、伊崎晴朗市中小企業振興課長、古森裕企画政策室主幹

〈関係機関・団体〉

植木利雄（財）北九州産業学術推進機構専務理事、小出勝敏同中小企業支援センター長、山柿勝利（株）北九州テクノセンター社長、山田信幸北九州商工会議所金融相談課長、小川徹（社）九州機械工業振興会事務局長、林優一福岡県中小企業団体中央会北九州支所長、市來哲郎（社）福岡県機械金属工業連合会事務局長、松本道博福祉用具プラザ北九州次長

（業界）

佐藤隆樹（株）北九州テクノロジーリサーチ副社長、星野豊馬（株）松島機械研究所課長



3年目を迎えて

会長 秦 吉 昭

本年度の通常総会を順調かつ盛会裡に終えることができました。これも偏にご多用の中をご参会頂いた関係各位並びに会員の皆さまのご支援ご協力の賜であり、ここに厚く御礼申し上げます。

当法人は、3年目を迎えることになりましたが、前身の「TS会」からちょうど10年の記念すべき節目の年でもあります。

北九州市、その他公的機関、市内の工業団地等を訪問し、認知活動をしてきました。お陰様で、各界方々のご理解も頂き、また会員皆さまのご努力により、16年度はほぼ所期の目標を達成することができました。あらためて感謝申し上げます。

特に「金属成形プレス金型産学連携研究会」の発足・推進や「環境に関わる協働事業」、「北九州産業技術博物館への協力」、「ISO認証取得支援」、「FAIS中小企業支援・協力」、「九工大産業調査協力」など活発な展開となりました。

17年度は、昨年度事業の継続を基調に推進しま

すが、新たに「エコアクション21地域事務局福岡」として、認定・登録業務を開始します。地域の皆さまにはワンポイント・サービスができるようになりました。

さて、北九州市は環境産業や産業技術博物館設立等の諸施策が展開されており、また北部地域の自動車産業100万台構想も着実に進展しております。

我々は「ものづくりの支援・協力を通じて産業振興をはかりまちづくりに貢献する」を理念とし、今後より一層企業や行政・公的機関、大学等と連携しながら、進めたいと思っております。

今後とも、関係各位のご協力ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひします。

ご来賓代表祝辞 〈要旨〉



福岡県新産業・新技術振興課
神谷 昌秀 技術課長補佐

貴法人は、平成15年4月にNPO法人として新しくスタートし、2年を経過されました。

この間、産学連携、技術移転支援、相談員・専門家派遣事業などに意欲的に取り組んでこられました。これも偏えに会長はじめ会員の方々のご尽力の賜であり、深く敬意を表します。

今後とも、これまでに培われた豊富な経験と幅広い人脈を生かし、行政はもとより大学や中小企業と連携をさらに高められ、より一層の活動を展

開されるよう心より期待します。

近年本県では、北部九州自動車10万台生産拠点プロジェクトを進めてまいりました。この目標実現が確実となり、関連産業の集積と雇用の創出に大きな効果が生まれています。これをはじめものづくり産業の振興を図るため「福岡ものづくり産業振興会議」を設立、金属プレス成形金型産学連携研究会の活動などを強力に推進しています。そのほか各種の中小企業振興策をも併せて、北九州テクノサポートの日頃のご活動を大きな支えと考えていますので、今後ともご協力下さるようお願い申し上げます。

(福岡県商工部長祝辞代読)



(財)北九州産業学術推進機構
植木 利雄 専務理事

貴法人がNPO法人となって2年、前身のT・S会から数えると10周年の節目になります。

この間、地域企業への支援や新事業創出に関する調査等に幅広く活躍され、北九州市の産業振興に大いに貢献されました。

特に、昨年金属プレス成形金型産学連携研究会の発足やエコアクション21の県内唯一の地域事務局としての認定など、これまでの活動成果が形

となって現れてきております。

私ども財団の中小企業支援センターにつきましても、その豊富な知識経験を生かした窓口相談、専門家派遣事業に、また昨年度は技術移転支援業務にも多大なご支援を頂いております。これからもより一層連携を深め活動展開してまいりたいと存じますので、宜しく申し上げます。

私ども財団のもう一つの活動拠点である「北九州学術研究都市」も5年目を迎えました。3月の北九州大の卒業生送り出し、4月の産学連携センター4号館オープンなど、進展をみています。これにも皆さまのさらなるご支援を期待いたします。

(当財団理事長祝辞代読)



北九州市産業学術振興局
小林 正己 地域産業部長

本日、貴法人の第3回通常総会が、滞りなく終了されましたことを心よりお慶び申し上げます。また、前身のT・S会以来10周年の節目を迎えられたことを、併せお祝い申し上げます。

設立以来、企業OBの豊富な経験や技術の専門知識を活かして、地域中小企業の技術支援や産学連携のコーディネート活動に献身的に取り組まれてこられたことに、心から敬意を表します。

本市事業についても、中小企業支援センターで

実施している窓口相談や専門家派遣、さらに北九州TLOのライセンス活動支援、北九州技術マップ作成のための調査、エコプロダクツ選定のための調査などで多大なご尽力を頂いております。

企業活動のグローバル化、情報化の進展、環境問題への対応など、企業を取り巻く経営環境は大きく様変わりしつつあります。この中で多くの課題を抱えている中小企業に対し、皆さんの持つ技術、知識、経験を生かす場はさらに拡がると存じます。今後さらに大きな力を発揮されることを期待し、ご挨拶とさせていただきます。

産学連携におけるデザイン活用

〈記念講演要旨〉

九州大学教授

森田 昌嗣氏



本日は、“デザインがどういう風に活用できるか”という一端をご理解頂ければと思う。

1. デザイン活用の課題と可能性

2002年に、経産省の製造産業局で〈人間生活システム企画チーム〉を編成、「人間生活志向製品の製造・販売に係る経済的効果等に関する調査研究」を行った。

それによれば、1993年から10年、「日本のデザインは成熟した」として、国の支援がない空白の状況が続いた。この間に東アジア、特に韓国や最近では中国の追い上げが強くなった。そこで経産省でも、改めてこの課題の研究がなされた。

この研究の背景には、消費者ニーズの多様化、高齢化の進展等、生活者の視点を重視したものづくりのあり方の増大、つまり人間生活志向型製品開発に目を向ける必要があるということである。

その視点から、製造事業者、生活者、有識者ごとにヒアリング又はアンケート調査を重ねその研究結果が示された。

それによると、人間生活志向型製品では、売上が約3割増、営業利益率が44%高、企業・ブランドイメージに繋がっているという経済効果が示されている。

一方で、製造事業者トップの本課題への理解・取り組み不足、逆に生活者側では製造業者との積極的なコミュニケーションが必要と指摘、そのための情報流通促進の重要性が強調されている。

デザインはブランド確立の近道

同じく「戦略的デザイン活用研究会」の報告では、競争力強化に向けた40の提言がなされ、その中で“デザインはブランド確立の近道”というキャッチフレーズが謳われている。

技術の成熟で技術革新における差別化が至難になっている現時点では、ブランド化を念頭においた創造・活用による高付加価値化、差別化が重要

な経営戦略となっている。欧米、東アジア等比べその認識が低いわが国では、早急にその立ち遅れの克服が要請されている。〈その事例紹介あり〉

2. グッドデザインとユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインとは“みんなのためのデザイン”、これには、次の7原則がある。

①誰にも使え、入手できる ②柔軟に使える ③使い方が容易に判る ④使い手に必要情報が容易に判る ⑤間違えても重大な結果にならない ⑥少ない労力で、効率的に楽に使える ⑦アプローチに使用するのに、適切な広さがある

グッドデザインを目指すということは、ユニバーサルデザインを目指すことと、ほとんど同義であり、人間中心のデザインを考えることである。

3. 産学連携におけるデザイン活用

パブリックをいかにデザインの対象とするかということが、わが国では非常に抜けているし、遅れている。特に、都市計画とか建築の領域において然り。

私は、インダストリーデザインとかインテリアデザインの中に、いかに公共のデザインをするかを考え、また工業インダストリーデザインに立脚した環境デザインをという位置づけで進めている。

統合性、柔軟性、持続性、公共性、地域性、場所性、時間性、歴史的な文化背景……。捉えるべき多くのキーワードがあるが、重要なのはソフトデザインとそれをコーディネートする調整機能である。即ち、パブリックスペースの場合と、パブリックのプロダクト、エレメントの場合では、各々の指標が異なる、これらをちゃんと見極めてデザインしていかなければならない。〈各種事例を紹介〉

本記事は、紙数の制約から講演の一部をかなり圧縮又は割愛しています。ご了承下さい。詳細を知りたい方は、事務局にご連絡下さい。

K T S の動き

支援部会を軸に事業展開 連携拡充で知名度アップ

KTSでは発足以来、支援部会活動を軸に事業展開を図っています。

16年度は、県・市をはじめ関係機関・団体・企業にKTSの存在がしだいに浸透、事業委託や相談件数が拡がってきました。その主なものを挙げてみます。(括弧内：部会長、部会員数)

○技術・経営支援部会 (秦 吉昭、24名)

- ・中小企業支援センターへ相談員・専門家派遣
相談室2名、資金相談2名、専門家派遣10名
- ・北九州市産業技術博物館産業調査への参画、
市企画政策室、㈱匠塾と連携、11名で域内63
社対象に調査協力
- ・産業見本市商談企業調査
(財)西日本産業貿易見本市協会と連携、3名
により20社を調査
- ・九州工業大学へ協力員派遣
コーディネーター5名派遣

○産学連携支援部会 (石川 浩、23名)

- ・金属プレス成型金型産学連携研究会の発足と
活動推進
県新産業・技術振興課より (社) 福機連を通

じて同研究会の業務を受託、16～18年度3ヶ
年計画に6名で担当

- ・北九州TLOライセンス活動業務受託
FAIS技術移転部より、「シーズ案件の企業へ
の紹介とライセンス契約」に関する業務を受
託、7名で担当

○ECO支援部会 (島谷哲雄、9名)

- ・産業廃棄物資源化・減量化技術支援業務委託
(株)北九州テクノロジーより受託、「汚泥」関
与50社を限定、4名で調査を担当
- ・大学環境講座に講師派遣
福岡教育大に派遣、「環境システム工学」(2
単位)の前期授業担当

○ISO支援部会 (小川 勝、13名)

- ・ISO9001・14001認定取得業務支援
9001 2社、14001 1社へ取得支援
- ・ISO9001内部監査員出前研修
1社への出前研修(4日間)
- ・エコアクション21フォローアップセミナー開
催受託
北九州市環境局より受託、延8日間実施
- ・「エコアクション21地域事務局福岡」認定
(財)地球環境戦略研究機関(IGES)に地域事
務局認定申請

○IT支援部会 (安東 静、9名)

- ・ホームページ(HP)支援事業

17年度予算・手固く編成

第3回通常総会で可決決定された平成17
年度収支予算(抄)を、15、16年度実績と対
比すれば右表のとおり。

NPO法人化後初年度の15年度に比し、16
年度は大きい伸びを示しました。

17年度予算は、この16年度実績をベース
に、収入は手固く着実な漸増で編成してい
ます。

その大きな柱は、(1)地域の企業・組織支
援と(2)国際規格認証取得支援ですが、県・
市その他関係機関・企業等からの知名度と
信用が高まり、各事業とも予算を上回る実
績の達成を目指しています。

事業経費・管理費については、まだまだ
役員・部会員のボランティア協力に負う面
を残し、健全収支を図りました。

○17年度収支予算(抄)

(単位 千円)

科 目	17年度予算	16年度実績	15年度実績
1. 事業収入	(12,100)	(11,653)	(3,474)
(1)地域の企業・組織支援	6,140	6,282	369
(2)環境保全技術開発支援	350	847	600
(3)国際規格認証取得支援	5,410	4,324	2,195
(4)情報発信事業	200	200	310
2. 入会金・会費	400	385	890
3. 寄付金	300	323	144
4. 雑収入	0	1	0
収入合計	12,800	12,362	4,508
1. 事業経費(各支援事業費)	9,896	10,337	3,148
2. 管理費(旅費交通費ほか)	2,337	1,037	859
支出合計	12,233	11,374	4,007
収支差額	567	988	501
収益事業損益	0	0	0
当期収支	567	988	501
前期繰越高	1,490	502	-
次期繰越高	2,057	1,490	501

- HP作成・運用支援 3社
- ・インターネットによる広報
- KTSのHP企画、製作、管理
- ・IT支援事業
- IT支援事業の抽出、パンフ作成、広報活動

○広報部会（三上 亨、6名）

- ・会報「北九州TSニュース」の発行
- 夏期号（8P 1200部、新年号12P 1200部）を発行、関係機関・団体、企業等へ配布
- ・新春座談会開催
- 「中小企業支援とKTS活動」テーマで、北九州市、FAIS、(社)福機連が参加

各部会 活発に始動 7.5総会後初理事会

KTSでは、毎月1回、原則として第1週火曜日に理事会を開催しています。

6月9日の第3回通常総会後の初理事会は、7月5日10時10分から、北九州テクノセンター404号室で開催、理事12名全員が出席しました。

会議は、まず各部会の経過報告から入りましたが、いずれも総会で決定された新年度方針に添って順調な滑り出しをみせています。

その内の一部を抽出してみますと、

- 秦会長が、「北九州エコプレミアム産業創造事業」選定委員、「北九州資源循環ネットワーク」アドバイザー、「中央会ものづくり塾」委員の各委嘱を受けるなど、KTSの認知度アップの一端が垣間見られる。
- エコアクション21（EA21）地域事務局福岡の開設は、KTSにとって画期的な事項。
これに伴い、ISO支援部会はISO・EA21支援部会に改称。
- IT支援事業では、今後積極的に市内機械金属関係協同組合等を歴訪、PR普及を計画。
このほか、各部会とも従来事業の充実とともに新規分野の開拓を検討取り組み中です。
県、市その他関係機関からの事業委託については従来分のほか新規取得についても積極的にアプローチしつつあり、その達成が期待されます。

お気軽にご相談を！

KTSでは、次の相談活動を行っています。

1. 来所相談
北九州テクノセンター1F・情報コーナー、KTSデスクで、原則として毎週月・水・金（祝日を除く）10：00～16：00、には理事が交替で務め、火・木はEA21担当がつめています。
2. 出前による支援
直接事業所に出向いて、ご相談に応じます。定期巡回による企業ホームドクター制度もあります。お気軽にご活用下さい。

☆新会員紹介（H17.7月）

延原健次氏

- 主な資格 ISO14001審査員補、環境省環境カウンセラー、公害防止管理責任者・水質二種
- 得意分野 ISO14401システム構築と運用、効率的な工場生産ラインの編成構築

谷口克彦氏

- 得意分野 鋳造（原料から製品まで）

西 哲郎氏

- 主な資格 衛生工学衛生管理者、公害防止管理者（大気第4種、水質第4種、振動、騒音）
- 得意分野 ISO14001の認証取得支援、IE手法活用による環境改善支援

中津留俊夫氏

- 得意分野 総務、経理、経営管理（コスト管理）

上記加入4名、死亡1名、脱会4名で、7月末現在、正会員総数は76名になりました。

☆入会のご案内

KTS会員の種別と入会条件は、次のとおりとなっています。（定款第6、7条）

- (1) **正会員** この法人の目的に賛同し、この法人の行う事業のいずれかについて技能、技術及び経営に関する学識・経験を提供し、活動に積極的に参加することが出来るシニア世代の個人
- (2) **賛助会員** この法人の目的に賛同し、活動に協力することが出来る個人及び団体
入会金及び会費は、2年度現在次のとおり。
 - ①正会員 入会金 5,000円、年会費 5,000円
 - ②賛助会員（個人）
入会金 5,000円、年会費一口 5,000円
 - ③賛助会員（団体）
入会金 10,000円、年会費一口 10,000円
 関係各位の入会方を希望し、歓迎します。

エコアクション21〈中小事業者向けの環境経営システム〉 普及活動が本格化

エコアクション21は、1996年に環境省が策定した中小企業向けの環境経営システムですが、事業者からサプライチェーン（商取引の関係）を推進するために第三者による認証・登録制度にして欲しいとの要望があり、環境省は2004年10月から改定しました。

この改定されたエコアクション21（以後エコアクション21という）は、中小事業者の環境への取り組みを促進するとともに、その取り組みを効果的・効率的に実施するため、ISO14001をベースとしつつ、中小事業者でも取り組みやすい環境経営システムのあり方をガイドラインとして規定したものです。

この環境経営システムを構築・運用することにより、環境への取り組みの推進、即ち省エネルギーや原材料の節約、廃棄物の減量、水の使用量削減等だけでなく、経費の削減や生産性・歩留まりの

向上等、更には、総合的な経営上の効果もあります。

改定された2004年10月以降、環境省は普及のためのセミナーを活発に行い、北九州市も積極的に独自の認証・登録に重点を置いたセミナーを開催するなど、エコアクション21の普及活動は活発化してきました。今年度も多くのセミナーが実施・計画されています。

NPO法人北九州テクノサポートも、環境省や北九州市のセミナーの講師を務めるなど連携して活動を行ってきました。

今年の4月には、NPO法人北九州テクノサポートが運営母体となり、「エコアクション21地域事務局福岡」を設立し認定されました。この事務局が地域の核となって更に活動が活発になると共に、地域の事業者にとっては、認証・登録が便利になりました。



「エコアクション21地域事務局 福岡」開設 (NPO法人 北九州テクノサポート)

「エコアクション21認証・登録制度」を実施する機関として、環境省は財団法人地球環境戦略研究機関持続性センターに中央事務局を置き、ここを中心に各地域事務局に審査申込み受付、認証登録の受付・判定、普及活動などを展開することにしました。

NPO法人北九州テクノサポートでは、真っ先に「エコアクション21地域事務局福岡」の申請をして認定され、5月25日から業務を開始しました。

「エコアクション21地域事務局福岡」の業務は

- ①審査申込みの受付
- ②審査人の紹介・斡旋
- ③認証・登録の受付
- ④認証登録の可否の判定
- ⑤コンサルタントの紹介・斡旋
- ⑥普及活動など

このように、「エコアクション21地域事務局福岡」は「エコアクション21認証・登録制度」の実践的な部分の殆どを実施していく機関と言えます。

認証・登録証は中央事務局から発行され事業者に送られます。

地域事務局は7月現在、全国で25機関が認定されており、九州では、福岡、熊本、宮崎、長崎のみです。事業者はどの地域事務局に審査の申込みや認証・登録の申請を出しても構いません。

「エコアクション21地域事務局福岡」の強みは、運営母体であるNPO法人北九州テクノサポートに、5人ものエコアクション21の審査人が所属していることです。九州では25人しかいません。熊本の地域事務局は1人、宮崎、長崎は0人です。このような充実した運営母体は全国でも稀だといえます。

北九州市とその近郊はもとより、福岡県内、近隣県の事業者に、頼りになる事務局を目指して活動を展開してまいります。

◆ 事業所めぐり

日本資源流通株式会社

今回は、3回目の事業所めぐりです。7月15日11時、横大路照雄会員と三上理事・広報部会長の2人で本社を訪問、豊岡社長、小澤取締役企画部長、鹿島総務部長代理の3人にお会いし、懇切丁寧なお話を頂きました。

以下は、その要約です。

◇ 会社概要

- 所在地 北九州市小倉北区大島3-3-57
- 代表者 代表取締役社長 豊岡 静夫
- 設立 昭和49年(1974)2月8日
- 資本金 1,000万円
- 従業員 150名
- 営業種目
 - ・紙及び紙原料の加工・販売業
 - ・金属原料の販売・倉庫業
 - ・一般・産業廃棄物の収集運搬業
 - ・貨物自動車運送事業

○会社の沿革と業況

当社の設立は昭和49年2月、すでに31年を超える。当初は、一般貨物運送業での発足だったが、その中で北九州市から委託されて一般ゴミ収集運搬に着手、これがしだいに拡充されて事業所から排出される事業系一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬に業容が拡大していった。

また、紙ゴミ収集の過程で、顧客の製紙会社から、古紙を生かして資源の再生利用を図ってほしいという要請があり、リサイクル分野にも参入した。現在では、「地域集団回収」「オフィス等事業所からの古紙回収」「市町村の委託回収」等を通じて搬入された新聞・雑誌・OA用紙・ダンボール等は、すべて選別圧縮梱包して製紙メーカーに直送されている。北九州地域でスタートした本事業も福岡、鹿児島、山口、八代と営業所を開設してエリアを拡げ、ここ数年前から韓国、中国、東南アジア向け製紙原料輸出にまで発展をみている。

環境保全事業（一般・産業廃棄物収集運搬と再資源化）、古紙リサイクル事業、運送事業が当社事業の3本柱となっている。



一般廃棄物の回収作業

地球にやさしく
人にやさしく
J-Shigen



はい積みされた梱包品

○ISO14001承認取得

当社では、17年1月27日付で、ISO14001:2004を認証取得した。その契機となったのが、本年2月、Y地銀の勉強会での秦KTS会長及び田島会員の講話だったという。その取得には、ぜひKTSを利用されたいとお勧めで、本年4月から思い立ち小川副会長、横大路氏等の支援を受け、年度末一杯の目標より早く取得できた。2004年版では、九州で1、2番というハイ・スピードだった由、本席上でKTSへの謝辞が述べられた。

そのメリットとしては、対内的には取得業務に当たった従業員の教育面でプラスになったこと。対外的には、元々安定した固定顧客を持つ当社では直ぐの効果はみえてない。しかし、受発注に当たっての契約書交わし傾向や個人情報保護法による厳密な対応要請が強まっているこれから、しだいに効果が出てくるのではないかとこの予測があった。

○今後の展望と目標

一般運送業界では、景気に左右され、受注と価格の競争にさらされ、総じて厳しい経営環境にある。その中で当社発展の要因は、当初の一般運送から脱皮、環境保全・リサイクルに新分野を開拓、時代の流れに乗せた先見性にあると言えよう。

豊岡社長の抱負は、今は古紙主体のリサイクル

だが、これをさらに進めて、時代にマッチした“総合リサイクル”構築による、地場社会との協調を目指すことにある。

この目標達成には、現本社所在地は手狭まになっており、より広い適地への移転プランを進行中とのことである。

“地球にやさしく 人にやさしく J-shigeh”をモットーとする当社の“総合リサイクル”産業への飛躍発展が期待される。

迎静雄先生叙勲を祝う会 7. 15各界から参集して盛況

本年7月15日（金）18時30分より、小倉北区・「ステーションホテル小倉」4Fホールで、「迎静雄先生の叙勲（瑞宝重光章）を祝う会」が盛大に開催されました。

迎静雄氏の今回“春の叙勲”は、永年にわたる教育界・学界における貢献に加え、広く多面にわたる社会貢献によるものです。瑞宝重光章は、元の勲2等瑞宝章に相当する高ランクのものだといえます。

催しの当日は、官界、学界、業界、九工大関係その他知友関係者等約200名が参集、参会者を代表して麻生渡県知事、末吉興一北九州市長がその功績を称え今後のご健勝ご活躍を祈る祝辞を述べられました。

迎先生は、九州工業大学学長当時から産学官交流の熱心な推進者でしたが、平成5年11月、(株)北



謝辞を述べる迎静雄氏

九州テクノセンター代表取締役社長に就任されてからは、末吉市長と相図ってKTSの前身T・S会の設立を企画、13年6月の同社退任までの間、T・S会の育成支援に並々ならぬご尽力を頂きました。いわば本組織の生みの親、育ての親の方であります。当日は、秦会長、三上理事、泊前理事が出席しましたが、先生の今後ますますのご健勝ご活躍を祈念してやみません。

<http://www.npo-kts.org/>

E-mail:npo-kts@npo-kts.org

どんどんアクセス願います

KTSのホームページ及びEメールのアドレスは、上記のとおりです。この企画、運用、管理の担当はIT支援部会ですが、その内容については常に刷新充実に努めています。

ホームページでは「相談コラム」を設定、中小企業の皆さんの相談や依頼についてITを介して迅速で的確な処理を心がけています。

これらの努力で、最近ではアクセス回数がしだいに増加しつつあります。しかし、管内中小企業の総数からみれば、まだホンの一部です。

ぜひクチコミでもお知り合いにPR頂き、アクセ

スの増加にご支援ご協力下さい。

編集 後記

北九州TSニュース第5号・夏月号をお届けします。T・S会ニュースから通算すれば第18号になります。

法人化後3年目に入った今期総会では、ゲストの方々ともどもクリーンビズの軽装をお願いしましたが、前年に比し多数のご参会を頂きました。議事の内容も豊富になり、広報事項も拡大、2P増の10頁立てにしました。

ご協賛ご協力頂いた関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、今後一層のご指導ご支援方をお願いいたします。(T・M)

暑中お見舞い申し上げます



より精密により高品質に！

ファインセラミックス&不定形耐火物

大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・
 確実なレスポンスをモットーに、独自の
 技術開発力を武器にダイナミックな展開
 をしています。

大光炉材株式会社 〒804-0054北九州市戸畑区牧山新町1-1
 新素材開発部（ファインセラミックス）
<http://www.taiko-ref.com> Tel:093-871-8356, Fax:093-882-7300

GL PIPE JOINTS 好評です
 PAT.284334E JAPAN
GASKETLESS管継手
 パッキンのいらない

新製品賞 '99中小企業 優秀新技術新製品賞
 福岡県知事賞 中小企業先端技術展 福岡県知事賞

福岡県北九州市八幡東区西本町4-5-1
株式会社 大創 TEL ●●(093)681-7195
 FAX ●●(093)681-7196
 ご質問・お問い合わせは 専用FAX:(093)681-7197

- *テレビコール(高齢者や障害児用):スイッチ1ヶでTVの電源ON-OFF、チャンネル変更、チャイムコール
- *ソフトフィットマウススティック:熱可塑性歯科材料使用、歯への負担を分散、新しいソフトフィットのマウススティック
- *ミニユニットPC&SW:小型2点スイッチ無線で、障害者用ソフト自由自在

高齢者・障害者の「快適」「自立」「就労」のために…

有限会社 しまだ福祉用具研

代表取締役 嶋田節子

805-0008 北九州市八幡東区枝光本町7-7 八幡ビル205
 電話:093-671-0277 FAX:093-671-0288
 e-mail:shima-ken@syd.odn.ne.jp

**CAD、CAMの導入・活用、
 生産管理のご相談は当社へ！**



株式会社 エーエスエー・システムズ

代表取締役 麻上俊泰

〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町3番3号
 TEL (093) 882-0100
 FAX (093) 882-0066



**環境保全 リサイクル
 を通じて 社会に貢献**

廃棄物の処理はお任せください

いつでもお客様のご要望にあわせて回収いたします
 いつでもお見積もり(無料)にお伺いいたします

ISO14001認証取得
日本資源流通株式会社
 〒802-0026 北九州市小倉北区大倉3丁目3番57号
 TEL (093) 521-1734
 FAX (093) 521-1736
 ホームアドレス <http://www.j-shigen.com>

FRPの可能性に挑戦。夢を現実に!!
 FRP総合エンジニアリング

詳しいお問い合わせは下記まで、お気軽に連絡下さい。



丸栄化工株式会社

代表取締役 内田 宏一



〒803-0186 北九州市小倉南区大字新道寺910番地
 TEL 093-451-0538
 FAX 093-451-0583
 mkk@maruei-gr.co.jp

NPO法人北九州テクノサポート

会 長	秦	吉	昭	理 事	小	野	晃	一
副 会 長	仲	隆	喜	"	後	藤	禎	二
"	小	川	勝	"	島	谷	哲	雄
理 事	米	沢	昌	"	鳥	越	年	高
"	三	上	亨	"	重	藤	将	美
"	石	川	浩	監 事	増	田	幸	一
"	安	東	静					

〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町2番1号 棟北九州テクノセンター内
 TEL・FAX (093)873-1453
<http://www.npo-kts.org/> E-mail:npo-kts@npo-kts.org